

2025年度 フィールド・スタディーズ(基礎FS) 担当教員からの成果報告

No.	プログラム名	実習地	種類	プログラム紹介	担当教員からの成果報告
1	台湾入門～台湾を楽しみ、台湾を学ぶ～(台湾)	台湾	宿泊	台湾について学び、考える講座。現地の空気に触れ、台湾の魅力を全身で受け止めることを重視する一方、歴史や日台の結びつき、日台関係論など、複数の視点から台湾社会を見つめます。同時に、台湾について学ぶことで、冷静でかつ客観的な国際感覚を培養し、見聞を広めることも目的とします。	近くて近い台湾。今回の研修を経て、学生たちは台湾のみならず、様々な切り口で語られる「日本」、そして、「アジア」を感じてもらえたのではないかと思います。台湾の郷土文化、日本との歴史のかかわり、多彩な食文化、在住者のビジネス体験、人々の暮らしぶりなど、複数の要素を絡め合わせ、自身の中に台湾へのイメージを創出する体験、そして、自身で感じ、考え、学ぶことの面白さを台湾という土地で得ていくことを本研修では目指したが、今後は台湾とのご縁を学生自らが育て上げていくことを願っている。
			海外		
			短期		
2	台湾スタディツアー：台北を歩き、人と話し、過去・現在・未来を考える(台湾)	台湾	宿泊	台北をフィールドとして台湾の過去・現在・未来を考えるプログラムです。旧市街の復元や伝統文化、戒厳令時代の爪痕などを訪ね、複雑な過去に向き合い、未来を切り開こうとする台湾の今を実感することを目指します。	初めての外国を自分の足で歩く計画力・行動力を身に着けた。現地の若者と深く交流し、国境を越えた友情を築いた。伝統文化や歴史の保存や街づくりにも触れた。戦後台湾の負の歴史を学ぶことによって、平和や人権という普遍的価値の重要性を痛感した。学生たちはアジアで生きる自分の将来の姿を想像し、その実現に向かっていかに大学生活を充実させるべきかを議論した。
			海外		
			短期		
3	韓国はじめの一步(韓国)	韓国	宿泊	韓国の古都にして大都会ソウルと、日本との縁が深い港町釜山を訪れ、生き生きとした街や市場の魅力を味わいます。	参加者多数のため同じプログラム内容を2回行うことになった。韓国は日本の隣国であり、古代から深い関係に結ばれ、共通する文化も多く持っている一方、街を歩くだけで言語も文字も食文化も国民性も違うことが明確に感じられる「外国」である。首都ソウルと新羅の都だった慶州、とくに日本に縁の深い港町釜山という3つの街を歩いて、外国の街を自分の目と足で歩く楽しさに気づいてもらうためのプログラムだった。
			海外		
			短期		
4	白象の国 入門編(タイ)	タイ	宿泊	タイの古都チェンマイとラムパーン、大都会のバンコクを訪問し、タイが生み出した文化や食をはじめとする暮らしの魅力を味わいます。本学協定校のサイアム大学で日本語を学んでいる学生との交流します。	国際的大都市であるバンコク、地方の小都市であるラムパーン、本来別の国ランナーの都であったものが近代国家タイに併合されており、別個の文化伝統を保つ街チェンマイの3都市を訪問し、それぞれの差異を体感した。また、判別行動では地方の小さな町も自分たちの力で訪問して、外国の知らない町を歩く楽しさを経験した。
			海外		
			短期		
5	Best Practices for Drone Image Data Collection (タイ)	タイ	宿泊	チェンマイの文化・自然・技術を学びます。またドローンやデータ分析技術を活用した森林火災の検出・防止について学びます。ドローン操作、データ収集、3Dマッピング等の実践的なワークショップで体験するだけでなく、技術と文化理解の両方を深めます。	チェンマイでのフィールドスタディでは、博物館訪問や大学での講義を通じて地域文化への理解を深めたほか、PM2.5センサー網や森林火災対策について専門家から学び、現場調査にも参加した。さらに、ドローン操作や編集実習を行い、技術を実践的に習得した。多彩な活動を通じて、学生たちは地域の課題を肌で感じ、多角的な視点と実践的な知識を身につける貴重な学びの機会となった。
			海外		
			短期		

2025年度 フィールド・スタディーズ(基礎FS) 担当教員からの成果報告

No.	プログラム名	実習地	種類	プログラム紹介	担当教員からの成果報告
6	フィリピン セブ島 社会課題解決SDGs研修 (フィリピン)	フィリピン	宿泊	フィリピンセブ島の現地英会話学校にて英語を学習します。英語習得や海外文化の理解を深めます。短期間で集中的に英語学習を行い、現地NPO法人を訪問します。	本フィールドスタディでは、英語学習に加え、現地NPOでのボランティアやITパーク視察、文化体験を通じて多面的な学びを得ました。参加学生は、日常的に英語を用いる環境に置かれたことで抵抗感が減り、実践的な力が向上したと報告しています。また、スラム地域の子供たちとの交流や生活環境の違いを体感することで、日本社会の豊かさを再認識し、自らの価値観や将来像を広げる貴重な機会となりました。
			海外		
			短期		
7	歴史と教育を学ぶカンボジア(カンボジア)	カンボジア	宿泊	国際交流やボランティア活動、農村と都市での生活、文化遺産、そして現在も爪痕が残る内戦の影響など、多岐にわたるテーマを通じて、カンボジアの多彩な魅力を体験します。小学校や児童養護施設、世界遺産のアンコールワット遺跡群、地雷博物館やキリングフィールドなどを訪れます。	本プログラムでは、文化遺産の見学に加え、孤児院や大学、農家を訪問し、現地の人々と交流することができた。学生たちは生活環境や価値観の違いに触れ、自分とは違う立場にある人々を理解しようとする気持ちを育んでいた。特に孤児院では、子どもたちや支援者の日常に接する中で、相手を大切に思い、尊重する心を深める貴重な機会となった。
			海外		
			短期		
8	インドシナ入門 川に生きる(ベトナム・カンボジア)	ベトナム・カンボジア	宿泊	ベトナム南部の都会ホーチミン市からカントー・チャウドウックなどの町を経て、船でプノンペンに向かいます。メコン川に生きる人々の暮らしの文化を味わいます。現地の人々の生活や考え方に直接触れることで、様々な価値観に触れ、視野を広げていきます。	発展著しいホーチミン市からローカルのバスに乗って(長距離バスは座るのではなく、寝そべて)メコン川沿いの町々をめぐり、ボートに乗ってそこに生きる人たちの暮らしを垣間見る機会を得た。メコン川をボートで下り、川で国境を越えて、カンボジアに入国するのも国境というものを考えるよいきっかけであった。
			海外		
			短期		
9	ブッダロード慈悲の道(インド)	インド	宿泊	インドを訪れて、仏跡と都市を中心にめぐり、インドの人々の暮らしに出会うプログラムです。人間のしあわせについて説き明かした釈尊(ブッダ)の足跡をたどり、現代もそこに集う世界中の仏教徒の姿にふれ、生きている人々のための、生きた教えとしての仏教の姿を知り、世界のしあわせについて考えるプログラムです。	インドの旅はどれほどいいホテルに泊まり、優等列車に乗ったとしてもやはり過酷である。まして観光客用のホテルではなく、仏教寺院に併設されている巡礼者用の宿舎に泊まり、混沌の極みである駅にたたずみ、人々の祈りの場に入っていくのは、学生にとってはかなりの精神的負担であったろうと思うが、それをかえって楽しんでくれたのはよかった。
			海外		
			短期		
10	アメリカ LA グローバル研修	アメリカ	宿泊	アメリカ ロサンゼルス(LA)を実際に訪問します。メーカーの研究開発や営業展開を見学したり、教育学校見学やキャンパスツアーを行ったりと、満載の内容になっています。ビジネス講演会、アメリカ在住ビジネスパーソンの講演、ロス在住日本人ビジネスパーソンとともにセミナーなども行います。	本プログラムでは英会話レッスン、大学交流(UCLA)、ビジネスパーソンとの座談会、医療・福祉施設見学、ディズニー研修など多彩な活動に参加し、異文化理解と国際的視野を深める貴重な機会となりました。教育的効果は大きく、今後の継続実施が強く望まれます。
			海外		
			短期		

2025年度 フィールド・スタディーズ(基礎FS) 担当教員からの成果報告

No.	プログラム名	実習地	種類	プログラム紹介	担当教員からの成果報告
11	FAO認定世界農業遺産「大崎耕土」エコツアーで体験！地域の歴史とSDGs(宮城県大崎市)	宮城県大崎市	宿泊	何世代にわたり継承されてきた伝統的な農林水産業と、それを取り巻く自然(生物多様性)と文化を世界農業遺産に認定された宮城県大崎耕土でのエコツアーを体験することで持続可能な生き方の一つを学ばす。	世界農業遺産に登録された大崎耕土での見学や現地での体験をすることで、学生は持続可能な生き方に関して自分なりの考えをもつことができた。特に現地で活動している方々から直接お話を伺う機会によって、考えを深めることができた。学生は現地で成果報告会を行うことで、さらに考えを深めることができた。
			国内		
			短期		
12	私たちが繋ぐコットン インドから東北へ～SDGsの視点から農業、アパレルの社会課題を解決する！～	宮城県山元町	宿泊	インドの貧困州で、オーガニックコットン栽培の導入や教育支援を行う一般財団法人PBP Cottonの方々から学ぶプログラムです。東北コットンプロジェクトとして活動する綿花栽培地の宮城県への視察・草取り等の体験型授業と綿花を使った製品製作も行います。	本プログラムでは、日本ではまだ普及途上であるオーガニックコットンについて、原産地のインドと日本をつないで普及に努める専門家の方からのレクチャー、宮城県の農場での収穫体験等を通じて、学ぶことができた。また、仙台では震災遺構の見学を取り入れ、東日本大震災について触れることもできた。
			国内		
			短期		
13	宮城県名取市 関上(ゆりあげ)～3.11を忘れない～被災・防災・減災・復興から自分で考える	宮城県名取市	宿泊	東日本大震災の被災・防災・減災・復興の実際を自ら体験して、3.11を忘れないために履修学生が自分で考え行動するプログラムです。宮城県名取市関上にて、津波の被害、減災・防災対策、復興の実際を見学、被災した語り部さんの話を聞き、自分の五感と心で感じて、3.11を忘れないために活動します。	本プログラムでは、東日本大震災3.11を忘れないためにできることを考えた。学生が現地でのグループ活動目標を立て、現地では津波で甚大な被害を受けた名取市関上地区の被災、減災、復興を学ぶ2日間のフィールドワーク、名取市内での被災体験の語り、防災と復興の実際、現地の空気に触れ、自分の五感と心で感じ、学内に戻り目標の達成度を評価、さらに「自分たちができること」考え表現する、充実した体験であった。
			国内		
			短期		
14	宮城県石巻市 支援ボランティア 放課後等デイサービス(障がい児)あつがるじゃんが石巻 多機能型事業所あつがるがらす	宮城県石巻市	宿泊	震災伝承交流施設の訪問等、東日本大震災の防災学修を体験します。「あつがるがらす」及び「あつがるじゃんが石巻」では、障がい者・障がい児の就労体験及び自立支援の活動の企画、スタッフ補助等を行います。	本プログラムでは、障がい者、障がい児を対象とした、多機能型事業所自立訓練(生活訓練)や放課後等デイサービスでの体験を通じて、障がい者教育の必要性を再確認した。また東日本大震災の復興の現状を理解することで、次への防災意識を高めた。参加学生は、実体験や見学を通して課題に対して自分にできる事を再確認する機会となった。
			国内		
			短期		
15	かづのDMO体験プロジェクト～世界遺産のまち・秋田県鹿角市で「住んでよし」・「訪れてよし」の観光地域づくりを実践～	秋田県鹿角市	宿泊	北東北の中心に位置し、世界遺産やユネスコ無形文化遺産を有する自然と伝統文化に恵まれた鹿角市で観光産業に関する調査研究活動や、観光客の増加に結びつけるための戦略的な地域活性化策について学びます。また夏祭りの「花輪ばやし」に参加し、伝統文化体験と住民との交流を行います。	本プログラムでは、ユネスコ無形文化遺産である「花輪ばやし」に参加することができる。学生達は地域の方と積極的にコミュニケーションを取り、自ら考えて行動する大切さを学んだ。また、受け入れ先である鹿角市のホテルや道の駅の方々や協力し、学生が発案した企画を実際に商品化している。学生は自分で考えた企画を実現できることに感動していた。仲間と意見を出し合うことで、より良い企画を発案することができ、成果報告の発表会では受け入れ先の方々からお褒めの言葉を賜った。
			国内		
			中長期		

2025年度 フィールド・スタディーズ(基礎FS) 担当教員からの成果報告

No.	プログラム名	実習地	種類	プログラム紹介	担当教員からの成果報告
16	はばたけ秋田県上小阿仁村！～人口2,000人以下の小さな村にある魅力を見つける～	秋田県 上小阿仁村	宿泊	村を元気にするお手伝いを行います。少子高齢化が進む上小阿仁村で、地域住民との交流、保育園や小中学校での子供たちとの交流、農作物収穫、特産品生産・PR活動、食文化等を体験します。その体験を通じて、上小阿仁村を今よりも活性化するためには、どのような取り組みをすればよいか考え発表します。	学生たちは上小阿仁村に各班ともにそれぞれ2週間滞在し、あらゆる世代の方たちと交流しました。村民の方たちとの交流や、いろいろな学び・体験を通じ、学生たちは村の活性化について一生懸命考え、彼らが今できる精一杯の力で、その成果を村の方たちに向け発表しました。上小阿仁村での生活を通じて学生たちが得た一つ一つが、かけがえのないずっと記憶に残るものと確信しています。本プログラムにかかわった全ての方たちに改めて心からお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。
			国内		
			中長期		
17	秋田県にかほ市地域課題解決FS	秋田県 にかほ市	宿泊	秋田県にかほ市横岡集落の地域の特色を生かしたクラフトコーラ作りを行います。ただクラフトコーラを作るのではなく、実際に地域の暮らしや雰囲気を感じる、クラフトコーラのコンセプトまで考え、発表します。コンセプトの考え方、地方で活動する楽しさを体感します。	秋田県にかほ市で地域おこし活動に取り組んでいる株式会社Ventos様にご協力いただき、実際に現地で様々な活動を体験しながら、地域の特産品を活かしたクラフトコーラづくりに挑戦しました。コンセプトづくりだけでなく、実際に試作品も作成し、「商品企画」のおもしろさやむずかしさを学ぶことができました。
			国内		
			短期		
18	山形県大石田町「そばの里 大石田町の歴史と文化・未来に向かって」	山形県 大石田町	宿泊	大石田町の歴史と文化を学ぶとともに、観光資源である「そば」について学び、そば打ちを体験します。また、地元の窯元での陶芸体験や虹の町案内人による町歩き、地域おこし協力隊の方による講義を受講し地域活性化につながる提案をまとめ、成果発表を行います。	短期宿泊型学修に関わらずプログラム内容が充実しており、歴史・文化学修に加え陶芸体験、そば打ち体験、芋煮料理体験、町案内人による町歩き、地域おこし協力隊の講義と様々な経験ができました。また足湯体験や銀山温泉見学など観光施設にも触れる機会もありました。参加学生は、講義を受けたことで大石田町の抱えている課題を知ることができ、現地とのオンライン成果報告会では学生の発表に改めて感心されていました。
			国内		
			短期		
19	震災でリセットさせられたまち 課題を可能性へ変えるひとびと ～君たちはどう生きるか？～(南相馬市)	福島県 南相馬市	宿泊	福島県南相馬市で震災復興に関連するプログラムを体験します。ゼロからの街づくりについて、復興・創生に携わってきた現地産業に従事している方たちの話を聞き、得られた期待や今後の将来を考えるグループワーク等を行います。	一泊二日の短期宿泊型研修でありながらも、実際に被災地をめぐり、そこに力強く生きる人々に会い、いろいろなお話を聞くことによって、学生たちは多くのことを学びました。事前学修ではあらかじめ南相馬市のことを知り、事後学修では現地で考えたこと、学んだことをプレゼンテーションで発表しました。学生たちがこのプログラムを通じて大きく成長したことを実感しました。
			国内		
			短期		
20	福島県猪苗代町農業体験！～猪苗代町の特徴を学ぶ～	福島県 猪苗代町	宿泊	農業体験及び猪苗代町について学ぶ授業です。猪苗代の人・自然・産業・歴史に親しみ、そのよさや魅力を理解するとともに、農家の取り組みを体験します。また、活動に主体的・能動的に取り組むとともに、複数人で学修することでお互いの良さを生かしながら活動し、自分の生き方を考えられるようになります。	中長期宿泊型学修ならではのより深く関わられたプログラム内容で、農業体験、美術館でのワークショップ体験、神社での講話、神域整備、お寺での写経、座禅体験と様々な経験ができました。また野口英世記念館見学など偉人を知る施設に触れる機会もありました。参加学生は、日本が抱える食の重要性を感じた体験となりました。
			国内		
			中長期		

2025年度 フィールド・スタディーズ(基礎FS) 担当教員からの成果報告

No.	プログラム名	実習地	種類	プログラム紹介	担当教員からの成果報告
21	西会津奥川地域で農とアートを起点としたコミュニティを学ぶ ～限界集落にみる未来の可能性～	福島県 西会津町	宿泊	福島県西会津町の芸術、稲作を活用したまちづくりについて現地で農業体験や街歩きを通して学びます。また、教育やデジタル戦略についても学びます。	西会津フィールドスタディーズでは、福島県西会津町にて、課題先端地域におけるアート、デザイン、デジタル施策、農業を活用した最新の街づくりの新しいカタチを学んだ。また、奥川地区の盆踊りをお手伝いすることで、地域住民との交流を深めつつ、コミュニティ運営の一助を担わせていただいた。
			国内		
			短期		
22	那須甲子の森 SDGs運動会 ～自然の中で感じる、学ぶ、考える～	福島県 西郷村	宿泊	那須甲子の森の自然の中でフィールド・ワークを行うことによって、自然の中で感じ、学び、考えます。都会の生活の中で体験することのできない自然から学び、自然に触れ、ものづくりを体験しながら、SDGsや那須甲子の地域課題を考えます。	普段はスマートフォンに頼り、夜も明るい都会の中で、生活リズムも不安定な大学生が、日光国立公園甲子地域の福島県西郷村の大自然の中で5日間の自然体験活動や共同生活を通して、都会ではできない非日常の体験から養われる経験、価値観の創造、生きる力や思いやりの心を育み、SDGsの観点を意識してプログラムに取り組むことでSDGsをより身近に感じ、自分事に捉えることができた5日間であった。
			国内		
			短期		
23	大成建設 体験してみよう！「地図に残る仕事。」	東京都 千代田区	通学	建築現場で、現場管理業務の流れを学修します。国内最大手のゼネコンである大成建設の都内の工事現場において様々な取り組みを見学・体験します。様々な職能を有する専門家集団が活動する建設工事現場での業務は、モノづくりを実体験出来、多くの気づきや智恵となります。(建築デザイン学科科目)	大成建設様のご協力のもと、実際に建設作業が行われている都内の現場で実習を行いました。履修者は、様々な立場の専門家が集まって一つの建築物をつくり上げる現場を体感し、ゼネコンという職業のやりがいや社会的意義について学びました。普段の学科の授業では触れることのできない建築職の「リアル」に触れることにより、プロフェッショナルとして建築を生み出すことの醍醐味と厳しさの両面を体験できたと思います。
			国内		
			中長期		
24	(公財)特別区協議会を通して首都の大都市行政を担う特別区を学ぶプログラム	東京都 千代田区	通学	「公益財団法人 特別区協議会」は区政の調査研究や地方自治の拡充を図り、23区の「シンクタンク」の役割を担っています。本プログラムではインターンシップや事前・事後授業を通して、首都の大都市行政を担う基礎自治体の政策や特別区の課題を学びます。	履修生は特別区協議会におけるシンポジウムや公開研修、幹部会議の準備・参加などの実習に加えて、東京都公文書館の訪問学習により、特別区や一部事務組合の制度・仕組みを理解したほか、行政の各制度を的確に運営することの重要性を学ぶことができたと思います。
			国内		
			短期		
25	江東区役所(江東区文化コミュニティ財団)文化事業インターンシップ	東京都 江東区	通学	公益財団法人江東区文化コミュニティ財団の施設での業務補助、接客等を行います。また、開催イベント・講座等の準備作業、イベント開催時・終了時における業務等、配布物準備、アンケート集計等の事務作業、その他、窓口・電話での接客など、イベント・講座等の運営補助を行います。	本プログラムでは、江東区の文化施設でのインターンシップを行いました。実習では、利用者との関わりから学ぶだけでなく、施設を運営している職員と一緒に運営に携わる中で大人として働く姿勢や思いを学び取ることが学生たちの実習日誌からうかがえました。事前学習では社会調査の手法を参考に、実習中の学生自身の態度や心構えを見つめ直し、事後学習では学生たちがそれぞれの施設で得た固有の体験や学びを言葉にし共有することができました。
			国内		
			中長期		

2025年度 フィールド・スタディーズ(基礎FS) 担当教員からの成果報告

No.	プログラム名	実習地	種類	プログラム紹介	担当教員からの成果報告
26	江東区児童館インターンシップ (2児童館:南砂・平野児童館)	東京都 江東区	通学	江東区内にある児童館で保護者や一般の方の来館者対応や児童館に遊びに来た児童と遊んだり、遊具の片付け、掃除などの日常業務補助、機会があれば子ども達の手作りお化け屋敷などのイベント運営補助等を行います。	本プログラムでは、江東区の児童館でのインターンシップを行いました。実習では、利用者との関わりから学ぶだけでなく、施設を運営している職員と一緒に運営に携わる中で大人として働く姿勢や思いを学び取ることが学生たちの実習日誌からうかがえました。事前学習では社会調査の手法を参考に、実習中の学生自身の態度や心構えを見つめ直し、事後学習では学生たちがそれぞれの施設で得た固有の体験や学びを言葉にし共有することができました。
			国内		
			中長期		
27	江東区児童館インターンシップ (2児童館:小名木川・亀戸第三児童館)	東京都 江東区	通学	江東区内にある児童館で保護者や一般の方の来館者対応や児童館に遊びに来た児童と遊んだり、遊具の片付け、掃除などの日常業務補助、機会があれば子ども達の手作りお化け屋敷などのイベント運営補助等を行います。	本プログラムでは、江東区の児童館でのインターンシップを行いました。実習では、利用者との関わりから学ぶだけでなく、施設を運営している職員と一緒に運営に携わる中で大人として働く姿勢や思いを学び取ることが学生たちの実習日誌からうかがえました。事前学習では社会調査の手法を参考に、実習中の学生自身の態度や心構えを見つめ直し、事後学習では学生たちがそれぞれの施設で得た固有の体験や学びを言葉にし共有することができました。
			国内		
			中長期		
28	江東区児童館インターンシップ (5児童館:亀戸・大島・大島第二・辰巳・東雲児童館)	東京都 江東区	通学	江東区内にある児童館で保護者や一般の方の来館者対応や児童館に遊びに来た児童と遊んだり、遊具の片付け、掃除などの日常業務補助、機会があれば子ども達の手作りお化け屋敷などのイベント運営補助等を行います。	本プログラムでは、江東区の児童館でのインターンシップを行いました。実習では、利用者との関わりから学ぶだけでなく、施設を運営している職員と一緒に運営に携わる中で大人として働く姿勢や思いを学び取ることが学生たちの実習日誌からうかがえました。事前学習では社会調査の手法を参考に、実習中の学生自身の態度や心構えを見つめ直し、事後学習では学生たちがそれぞれの施設で得た固有の体験や学びを言葉にし共有することができました。
			国内		
			中長期		
29	TOKYO GLOBAL GATEWAY 体験型英語学習 + 途上国社会問題解決フィールドスタディー	東京都 江東区	通学	英語体験型施設「TOKYO GLOBAL GATEWAY」にて体験型英語学習を受講し、英語でのコミュニケーション力と異文化理解力を養います。また途上国の社会課題について理解を深め、解決策の創出に挑戦することを目的としたフィールドスタディを3日間実施体験します。	受講した学生達は、人気の体験型英語学修施設「Tokyo Global Gateway」で英語漬けの1日を過ごしたのち、3日間におよぶ途上国社会問題解決フィールドスタディーでは、フィリピンの現地スタッフと英語でのZoom会議を交えながら、フィリピンの離島に住む子供達の就学事情を改善するという難問に立ち向かった。自身の英語力を向上させるだけでなく、途上国の厳しい現実を知り、その改善策を真剣に考えるという、有意義な学びの場になったと思う。
			国内		
			短期		
30	共生社会フィールド・スタディーズ 身近なバリアを探る(東京)	東京都 江東区	通学	障害の有無にかかわらず全ての人と共に生きる社会(インクルーシブ社会)の推進にむけて、社会福祉施設での体験や身体的制約の疑似体験などを通じて、私たちの身近にあるバリアを理解し、そのバリアを克服するために必要とされる視点や行動について学びます。	本プログラムを通じて、学生はさまざまな立場に立って身の回りにあるバリアに気づく視点と、生活に困難を抱える人々を理解しようとする姿勢を養うことができた。社会福祉施設では、多様な人々と実際にふれあう中で共感や理解が深まることを体験した。これらの体験を振り返ることで、インクルーシブ社会の実現に向けて自分自身がどのように関わっていくのかを考える契機となった。ご協力を賜りました福祉施設の皆様に深く感謝いたします。
			国内		
			短期		

2025年度 フィールド・スタディーズ(基礎FS) 担当教員からの成果報告

No.	プログラム名	実習地	種類	プログラム紹介	担当教員からの成果報告
31	身近にある海外を体験しよう！	東京都 江東区	通学	江東区大島に住む外国にルーツのある住民や団体の活動メンバーと交流し、地域にある多様な文化や考え方に触れます。住民が安心して暮らせる多文化共生の地域づくりに向けて、一人一人の関わり方を共に考える機会となります。	本プログラムでは、江東区大島地区の団地またその周辺に暮らす外国人住民と交流し、江東区の「多文化社会」について考えました。外国人住民とふれあい、その考えを聴くことで、「使うことばが異なってもコミュニケーションはとれる」こと、そして、「共生のためには自分たちの意見表明も必要だ」ということを学びました。言葉や文化の異なる人たちとどのように対話をして、共生社会を築くのかという点に関して、一番基本的な「語る」「聞く」ということへの重要性に気づくことができました。
			国内		
			短期		
32	江東区英語観光ガイドチャレンジ	東京都 江東区	通学	英語で観光ガイドにチャレンジするプログラムです。有明キャンパスのある江東区には多くの観光地があり、たくさん観光客がやってきています。江東区英語ボランティアガイド協会のみなさんと一緒に、実際に観光地に行って、ガイド体験をします。	本プログラムは、大学のある江東区の深川地域で、英語観光ガイドにチャレンジしました。江東英語ボランティア観光ガイド協会(KEV)に全面的にご協力いただき、門前仲町地域(富岡八幡宮、深川不動産)、清澄白河地域(清澄庭園、深川江戸資料館)に分かれて、現地確認、コース設計、観光ガイド実習を行いました。学生たちは、英語のみならず、街やコンテンツに関する知識をしっかりと身につけることが大切なことや、コミュニケーションの重要性に気づくことができました。
			国内		
			短期		
33	深川らしい「まちづくり」を学ぶ江戸伝統の深川まつりでカツギテの魅力を感じよう！	東京都 江東区	通学	江東区深川(門前仲町・清澄白河・森下)地域の街歩きをしながら、地域の歴史・文化・人・ビジネスなどについて学びます。深川は江戸町人の街としてはもちろん、近年ではカフェがたくさんでき若い人が集まっています。この街の魅力に迫ります。	本プログラムは、江東区深川地域について「祭り」を柱に学びました。今年度は、3年に一度開催される「二ノ宮」という深川祭りの大神輿の運営に関する事柄を学び、当日は実際に朝から二ノ宮渡御のサポートを行ったり、縁日のスタッフとして貢献したりしました。併せて、深川地域の歴史や現在のまちづくりについても学ぶ機会を得ることができました。
			国内		
			短期		
34	東京臨海副都心 まちの景観づくり活動(花壇管理・クリーン活動)	東京都 江東区	通学	有明キャンパスに隣接するシンボルプロムナード公園周辺にて植栽の維持管理活動を行います。またTOKYOミナトリエの見学と臨海部の現地調査を行いレポートを提出します。同時に自身が景観について関心のあるテーマを設定し訪問することで景観についての知見を養います。	臨海地区プロムナード公園での整備活動は猛暑の影響により予定していた4日間のうち、1日間しか活動することができず残念な結果で終わりました。しかしながら自らテーマを設定して訪問する課題においては、各自主体的に取り組んでいた。またTOKYOミナトリエ訪問でも各自臨海部の成り立ちについて理解を深めた。これを契機に日頃見過ごされがちな景観について意識を向けることができたのではないかと思います。
			国内		
			短期		
35	【中野区よもぎ塾】無料塾での活動を通して考える教育	東京都 中野区	通学	中学生を対象に無料塾で学習指導を行います。無料塾が果たしている役割や教育の機会均等に関するレポートを作成します。有料塾での指導に比べ、生徒たちのサポーターとして、学習指導以外の細かい心配りが必要となります。	夏休み開始後、事前授業で中学生への学習指導(英語や社会等も)の準備を行い、8月10日から4回にわたり、中野よもぎ塾で中学生との学習に取り組んだ。塾では学習指導だけでなく、仲間づくりのアクティビティーにも参加し、最終回は武蔵野大学生が企画した学習ビンゴ大会を行って、1年生から3年生までの生徒が協力し、楽しみながら学べる時間を作り、参加者全員から好評を得た。
			国内		
			短期		

2025年度 フィールド・スタディーズ(基礎FS) 担当教員からの成果報告

No.	プログラム名	実習地	種類	プログラム紹介	担当教員からの成果報告
36	東京都八王子市 北原病院グループ 知恵と癒しの医療を学ぶ ~One health & Small is beautiful	東京都八王子市	通学	地域で脳卒中医療に取り組んでいる現場に赴き、講義・見学・体験・グループワークを通して、知恵と癒しの医療を学ぶプログラムです。東京都八王子市北原病院グループの施設および専門職介入の見学、ヒーリングファシリリティや地域連携の実際等から、自分の五感と心で感じて学びます。	本プログラムでは、地域での脳卒中医療を提供する医療施設に伺い、急性期病院での脳卒中医療の実際、および回復期リハビリテーション医療の実際(温泉療法、動物療法を含む)を見学、患者体験も行った。人を対象とする医療現場での経験は、自学科への学びにつながる体験であった。
			国内		
			短期		
37	西東京市FSプログラム 児童館キャンプ	東京都八王子市	宿泊	西東京市児童館主催の一泊二日のキャンプの引率補助を行います。キャンプを通して、生活やレク、集団生活等についての支援を行うことで児童理解を深めます。また、キャンプを通して児童の持つ人権について理解を深めます。	・本プログラムでは、一泊二日のキャンプの引率補助員として活動を行った。その中で生活、レクリエーション、遊び、児童間の人間関係等、児童と一緒に活動することで、実際の児童の様子や考え方を知り児童理解を深めることができた。 ・事前学習では「セーフガーディング」の考え方を学び、「児童と活動する際の行動規範」を確認した。
			国内		
			短期		
38	武蔵野千川福祉会 社会福祉施設サポートインターンシップ	東京都武蔵野市	通学	実習先は就労支援事務所と放課後デイ⑧サービス事務所になります。各事務所にて職員のサポートをします。FSを通じて障害のある人の人権や福祉事業の理解気づきから学びます。	本プログラムは計10名の学生が参加した。武蔵野キャンパス周辺の5カ所の事業所(施設)で2名ずつ実習(活動)を行った。事前学習として「働く」「生活する」ことについて思考を深めた。4週間弱(計17日間)の現場インターンを経て、学生は自分の中の偏見に気づき、「障害のある人」ではなく一人一人は「個性豊か」なだけで「自分と変わらない」こと、距離感の取り方が大事であること、を理解したことを共有した。参加学生の今後のキャリアにも影響のある良い時間だったと考える。
			国内		
			中長期		
39	武蔵野市福祉公社 高齢者福祉支援インターンシップ	東京都武蔵野市	通学	武蔵野市福祉公社が運営する事業を体験します。公社のサービスを利用する高齢者と接する機会が多く、貴重なコミュニケーションの機会です。福祉や介護の現場業務をとおして、様々な生活課題の解決を必要とする人への支援の実際を体験していただき、人が人を支える福祉の基礎を学びます。	参加学生は「将来福祉関係の仕事につきたい。そのために、社会福祉の現場を体験したい」との思いをもって本FSに取り組んだ。実習では実際に「デイケア」「在宅介護」等を経験し、高齢者の方々と触れ合う中で、「高齢者福祉の課題」「現場簿職員の思い」「高齢者のお方の考え」等、高齢者福祉に対する理解を深めることができた。
			国内		
			中長期		
40	小金井市観光まちおこし協会インターンシップ (まちと遊びまちから学ぶインターンシップ)	東京都小金井市	通学	まちの観光資源や地域の魅力発信の取り組みについて学習し、商店街や公共施設のイベントの体験実習を行うことで、まちの楽しい人々と交流し地域活動を体験します。	参加学生は2名。一人は「まちおこし」を自分の町に当てはめ、祭りを通して地元への思いを共有する手段を構想しながら活動した。もう一人は地元出身の学生でよりよい町、住みやすい町づくりへの方法を学んだ。2人とも世代、職業を超えて交流できる拠点の大切さをよく理解した。
			国内		
			中長期		

2025年度 フィールド・スタディーズ(基礎FS) 担当教員からの成果報告

No.	プログラム名	実習地	種類	プログラム紹介	担当教員からの成果報告
41	小金井市 地域の寄り合い所 また明日	東京都 小金井市	通学	赤ちゃんからお年寄りまで、小中高生や地域の人も立ち寄り「また明日」にて地域の人々と交流します。乳幼児のお世話や、小中学生の話し相手、勉強の見守り、高齢者に寄り添いながらサポート業務を行います。	参加学生は4名。乳幼児から高齢者、放課後は学童までが寄り合う施設。その特性に最初は戸惑いつつも、「観察」と「感じて動く」ことに慣れ、2週間の中で大きな自己変革を遂げた。ある学生は自分の特性から限界を感じふさぎ込むことがあった。ある学生は自分の考え方・行動特性とリズムが合わず悩んだ。しかし、経営者や職員とのコミュニケーションやお年寄り・子ども達とのふれあいから学び、それぞれが自分の存在を見つめ直して変わっていった。
			国内		
			中長期		
42	「ともに生き、ともに学ぶ」東京都日野市における社会教育事業について学ぶ	東京都 日野市	通学	東京都日野市立中央公民館では、障害のある人もない人も「ともに生き、ともに学ぶ」を合言葉に、障害者青年・成人学級が実施されて2025年で50年を迎えます。公民館を活動のフィールドとして、市民が運営主体となって進められている社会教育事業、障害者と共に生きる地域のあり方について学びます。	初めて障害者と出会い交流する学生も多く、最初は緊張と戸惑いの表情を見せていましたが、活動が進むと共に、徐々に笑顔が見られるようになり、最後は一緒にダンスを楽しみました。東京都日野市の公民館や図書館の実践活動を体験し、見学したことで、様々な困難を抱えた市民の存在を知り、社会教育施設を拠点とした地域共生社会や多様性について考える契機となったと思います。
			国内		
			短期		
43	西東京市役所FSプログラム(サマー子ども教室)	東京都 西東京市	通学	実施小学校全児童を対象に、夏休みの居場所作りとしてカリキュラムを組み、体験学習を中心に1クール約20人の教室形式で工作・クッキング・企業の出前講座などの指導補助を行います。また学生立案による企画事業や児童指導全般の指導なども行います。	事前学習で「セーフガーディング」(児童と活動する際の行動規範)について学び、グループでの理解を深め、サマー子ども教室に向けての行動規範を確認した。 ・安全安心な居場所づくりのため、児童館が夏休み中に行っている「サマー子ども教室(工作など)」実施の補助を行った。その中で、「児童理解を深め」「児童のお思いや考え方を知る」ことができた。
			国内		
			中長期		
44	西東京市役所FSプログラム(児童館ランチタイム)	東京都 西東京市	通学	西東京市内の児童館では、夏休み期間、家庭での孤食防止や居場所としてランチタイムを設けています。その児童館で夏休みを過ごす子どもへの指導を行っています。	事前学習で「セーフガーディング」(児童と活動する際の行動規範)について学び、それぞれのグループで児童との接し方についての理解を深め、グループの行動規範を作った。夏休み中の孤食を防ぐため、児童間での活動を行うとともに皆と一緒に食事をする(9つの児童館で実施)。「児童理解を深め」「児童の思いや考え方を知る」ことができた。(工作や企業とのコラボ等の活動)
			国内		
			中長期		
45	空き家等実態調査(西東京市)	東京都 西東京市	通学	西東京市の空き家等の状況調査を行います。市内をいくつかのエリアに分け、エリアごと空き家等の現地調査を実施し、地域の課題を含め、現況報告書を作成します。また、現況調査の結果を踏まえ、空き家問題に対する予防や利活用について提案を行います。	空き家問題が全国的にクローズアップされているなか、西東京市の空き家状況の見聞に基づいて、空き家の管理・利活用の対策を市側に提案するプレゼンテーションを行った。今回から多様な学部・学科の学生が参加したため、現行法・制度に必ずしも囚われることなく、自由に議論・検討をするように指導・誘導したため、柔軟でユニークな試案がいくつか創出され、新たな成果を得ることができた。
			国内		
			短期		

2025年度 フィールド・スタディーズ(基礎FS) 担当教員からの成果報告

No.	プログラム名	実習地	種類	プログラム紹介	担当教員からの成果報告
46	八丈島エコツアーから学ぶ自然共生サステイナブルな生き方	東京都 八丈町	宿泊	東京都に近い離島を往復航空機を利用し3日間という最短期間で1日目自然共生、2日目地域再生、3日目地場産業を訪問、体験、交流することでサステイナブルな生き方を学び、副産物として地域に貢献できるエコツーリズム企画を製作することを目指します。	・2泊3日のエコツアー(「自然(八丈富士登山、星空観察等)」「伝統文化(黄八丈、食文化等)」「産業(椿油、漁業、農業等)」)を通して八丈島の理解を深める。 ・「八丈島をより住みやすく、活性化するために何をするか?」を課題として、一人一人が、FSを体験する中でそのための方法を考えまあと事後学習で発表する。
			国内		
			短期		
47	江戸東京 都市史の試み	東京都近郊 (各自で訪問)	通学	都市の歴史は人間の暮らしの歴史です。私たちの住んでいる東京を歩き、その成り立ちを学ぶことで、私たちの歴史が祖先たちによってどのように織り込まれてきたのか、どう書かれ、記憶されてきたのかといった、人間の固有の属性である「歴史」について理解を深め、この世界の結びつき。支えあいの姿に目を開いていくプログラムである。	江戸東京の近代史をオンラインで学び、実際にフィールドに赴いて調査・見学を行うという取り組みを行いました。オンライン授業では、「リアルタイムアンケート」という双方向型の意見交換システムを導入し、学生同士が考えていることが相互にわかるようにしました。また、フィールド調査・見学では、まずAIで現地のことを調べ、実際に行った際にAIの説明ではわからなかったことや異なる点に注目するようにしました。
			国内		
			短期		
48	Field Study in English (FSiE)	東京都近郊 (各自で訪問)	通学	This is a course designed for your independent study at off-campus. You need to participate in five off-campus events (including online events) such as seminars, symposiums, exhibitions and so forth, all conducted in English, and then submit your reflection report within two weeks after each event.	受講した学生達は、美術、歴史、音楽、文学、経済、政治、社会など実に多様なテーマで提供される海外オンライン・イベントの中から、自身の関心があるものを5つ選んで参加し、それぞれの感想文を英語で提出した。所属する学科の領域とは異なるテーマのイベントに参加した学生も多くみられ、学生達の視野や関心を広げることに役立ったのではと思う。
			国内		
			短期		
49	出入国在留管理・難民問題プログラム	東京都近郊 (各自で訪問)	通学	日本の出入国在留管理行政(難民等の保護を含む。)や税関行政について、事前授業、関連施設の訪問及び講演への参加等を通じて学び、「人」と「物」の出入りについて制度を理解します。これらを通じて見聞した課題を整理し、今後の行政や市民社会のありかたを考えます。	本プログラムでは、まず、国際化への対応に取り組む官庁を訪問したり、難民支援に取り組むNGOの担当者のお話を伺ったりすることを通じて、課題に取り組む現場の実態を学んだ。その後、国内のモスクを訪問してイスラム教徒の方と面会し、日本社会がどのようにイスラム教徒の外国人を受け入れていくべきかについて、率直な意見交換を行った。これらの活動を通じて、参加者は、日本社会が今度どのように外国人・難民を受け入れていくべきかについて、社会の実態を踏まえて考える機会を得ることができた。
			国内		
			短期		
50	仏教三昧FS	東京都近郊 (各自で訪問)	通学	武蔵野大学の基盤となる建学・仏教の精神への理解を深めるプログラムです。実習先は、本学発祥の地である築地本願寺、鎌倉の古寺、府中刑務所、博物館や美術館です。実習先で感じたことや学んだことが、今後の大学での学修に対するモチベーションにつながることを期待します。	本プログラムでは、本学の創設の地である築地本願寺に参拝して建学の精神について学んだ。また、鎌倉の諸寺の訪問の他、東京国立博物館や三井記念美術館が収蔵する仏像等を鑑賞して古代インドから現代日本に受け継がれてきた仏教の様相の学びに加え、府中刑務所を訪問し、教誨師のお話を聴いて現代に息づいている仏教のはたらきについて学んだ。
			国内		
			短期		

2025年度 フィールド・スタディーズ(基礎FS) 担当教員からの成果報告

No.	プログラム名	実習地	種類	プログラム紹介	担当教員からの成果報告
51	マレーシア・ボルネオ島の自然保全を学ぶ	東京都近郊 (各自で訪問)	通学	マレーシア・ボルネオ島の自然や野生生物の保全について現地の専門家のオンライン講義を通じて学びます。板橋区立熱帯環境植物園を訪れ、熱帯林に生息する植物や動物についても見学。現地の人の暮らしや熱帯林の関わりについてボルネオ地域研究の専門家を招いて学びます。	本プログラムではマレーシアやインドネシア、日本から専門家の外部講師の講義から現地の様子を理解するとともに輸入木材の利用や焼畑についてのグループディスカッションを行った。また板橋区立熱帯環境植物園を訪れ、熱帯林についての学びを深めた。事後授業ではグループごとにテーマを決め成果発表を行った。
			国内		
			短期		
52	食べて知る「日本の異国」	東京都近郊 (各自で訪問)	通学	日本に住む外国人が急増しています。東京・新宿区や群馬県・大泉町など、外国人が集住する街実際に訪ね、コミュニティとなっているレストランで外国人と同じものを食べつつ、外国人が増加している背景や日本経済との関わり、共生に向けての課題を考えます。	本プログラムでは、昨今さまざまな面で注目されている在日外国人の姿を基礎的なところから学んでいただきました。外国人は在留資格によって活動の幅も滞在期間も制限があることや、外国人が集住する地域には必ず外国人を必要としている産業があること、労働力としてバブル期から使われてきた歴史、各地の外国人コミュニティの成り立ちなどを紹介し、「なぜ外国人が日本に増えているのか」を知ることが、そのまま偏見や差別への解消につながればと考えています。「食」はそのための入口です。実際に外国人コミュニティを自分たちで訪れ、歩き、外国人と同じものを食べて、なにごとかを考えていただけたことと思います。
			国内		
			短期		
53	日本の神さま	東京都近郊 (各自で訪問)	通学	宗教は言語と並んで人間の基本的かつ固有の属性です。人間である以上祈りのない民族はありません。日本人にとっての祈りとはどのようなものなのかを、日本人の祈りの現場をめぐることで、日本人の心性への理解、しいては広く人間を理解するプログラムです。	日本における宗教観をオンラインで学び、実際にフィールドに赴いて調査・見学を行うという取り組みを行いました。オンライン授業では、「リアルタイムアンケート」という双方向型の意見交換システムを導入し、学生同士が考えていることが相互にわかるようになりました。また、フィールド調査・見学では、まずAIで現地のことを調べ、実際に行った際にAIの説明ではわからなかったことや異なる点に注目するようにしました。
			国内		
			短期		
54	作陶における伝統の創造	神奈川県 秦野市	通学	陶芸家の伊藤麻沙人先生にご指導いただきながら、陶器を製作します。伊藤先生の工房で撮影した動画によって制作の手順を学び、各自自宅で陶土を捏ね、形を作り、施釉の段階では伊藤先生の工房に伺って作業を行います。	38名の受講者が2グループに分かれ、最前線で活躍をする陶芸家・伊藤麻沙人氏の工房(神奈川県秦野市)を訪問し、作陶体験を行った。受講者全員が湯呑み等の小さい作品と、花瓶等の大きい作品の2種をそれぞれ制作し、各自創意工夫をこらした作品作りに取り組んだ。工房訪問の前にはオンラインで作品作りの段取りに関する授業を、工房訪問後には完成した作品を持ち寄っての事後授業を対面形式で実施した。
			国内		
			短期		
55	山梨県西桂町福祉推進・地域活性化プロジェクト	山梨県 西桂町	宿泊	社会福祉の観点から西桂町と、町の人々が大切にしているものや、地域活性化について学びます。地元夏祭りへの参加や交流、町営のグリーンセンター見学、利用者インタビューなどを行います。最終日には西桂町にて学外学修で学んだ成果やグリーンセンター活性化案等をまちの方々の前で発表いたします。	12名のメンバーが3グループに分かれ、西桂町の魅力を自分たちで見つけ出し、その魅力を多くの人に伝える方法を考えました。夏祭りの準備のお手伝いをし、まちの人と交流しました。町長とのディスカッションを通してまちの課題や将来の方向性を学びました。さらにグループごとにまちを歩き、自然の豊かさやまちの魅力を発見しました。最終日には各グループが、町役場の人たちにに向けて西桂町ならではの地域活性化のあり方を報告しました。
			国内		
			短期		

2025年度 フィールド・スタディーズ(基礎FS) 担当教員からの成果報告

No.	プログラム名	実習地	種類	プログラム紹介	担当教員からの成果報告
56	世界文化遺産富士山エコツアーから学ぶ自然共生サステイナブルな生き方	山梨県富士河口湖町・静岡県富士宮市	宿泊	富士山麓のキャンプ場を本拠地として世界文化遺産である富士山の自然、歴史、文化をエコツアーをテーマに学びます。自治体、NGO、自然学校、農林業、観光業などを訪ね、可能な限り現場での運営側での体験の機会を得ます。	富士山麓の朝霧高原にある静岡県の野外施設に滞在しながら世界文化遺産である富士山の自然、歴史、文化を学ぶことができました。学生は野外施設に滞在してアウトドア体験をすることでサステイナブルな生き方を体験することができました。世界文化遺産「富士山」に関しては山梨県・静岡県の富士山世界遺産センターを見学することで理解を深めることができました。
			国内		
			短期		
57	ありのままに森で遊ぼう、「障害」があってもなくても一緒にね。(長野県安曇野)	長野県安曇野市	宿泊	ゲストハウスやテントに宿泊して、自然の中で障害者と一緒に遊ぶイベントを運営します。雑木林でのデイキャンプ、山林での仕事、果樹園手伝いなども行います。障害者支援事業所や現地の農家との交流、首都圏からの参加者(障害児者とその家族など)との交流を含め、学生が主体的にイベントの内容を企画し運営します。	ほぼ初めて会う14名(女子12名、男子2名)が穂高駅から自転車を借りて走り、安曇野で3泊4日を過ごした体験は、仲間だけでなく自分自身と新しく出会いなおした体験になった。初日は障害者支援事業所を訪問してから自由行動、ゲストハウスに到着してオーナーの人生の物語を聞き、夜は遅くまでおしゃべり。2日目は農園、障害者支援、保育園など、3つのグループに分かれて地域の方々との交流を経て、古民家の宿へ。3日目は3つの異なる農園でお手伝い。朝晩の食事はお米と野菜をいただき、米粒を大事に食べることを味わい、夕方は自転車で坂を上って見晴らしの良い温泉に入って疲れをとって、長い滑り台を大騒ぎしながら滑り降りる。最終日は地域のマルシェで想像もしたことのない生き方と出会う。最初はおもいおもいしてみんなが、帰るころにはもっと長く居たかったとお土産を買いに慌てて走る。自分自身をもっと好きになって帰って行ったことは間違いない。
			国内		
			短期		
58	軽井沢で学びに向き合う	長野県軽井沢町	宿泊	軽井沢風越学園をフィールドにして、幸せな子ども時代の学びとはなにか？を考えるプログラムです。子どもの気持ちになって学ぶ経験や子どもたちとの交流を通して、軽井沢風越学園が大切にしている「じっくり、ゆったり、たががり、まごって遊ぶ学ぶ」になる」を体感し、自分とは何か、学ぶとは何かを問い続けます。	野外活動とプロジェクトの組み合わせの研修を実施しました。初日は自分たちで薪を集め火おこしをし、また寝床を作成するための支柱となる枝も森で調達しました。二日目、三日目は軽井沢風越学園の子もたちとのディスカッションや、子どもたちのプロジェクトへの参加、自分たちでプロジェクトを実施するなど、段階的に風越学園の学びを体験することで、学ぶことについて改めて深く考えました。
			国内		
			短期		
59	のじりこマルシェ英語インターン@長野県信濃町	長野県信濃町	宿泊	地元の飲食品やクラフト品が集まる野尻湖サンデーマルシェ。外国人の参加も多いこのイベントで、ブースを出して町の特産品PRをします。英語を使ってイベント告知や当日の運営補助も行います。また、外国人が経営するお店や、農場での就労体験、自然体験を行い、生きた英語や多文化に触れます。	総勢5名の学生がこのプログラムに参加しました。彼らはある程度英語を話せる学生でした。6泊7日のFS最終日にプレゼンテーションを行い、信濃町や野尻湖周辺の魅力を英語で伝えていました。このFSプログラムを通じて彼らはさらに英語を使って何かを伝えようとする意識がさらに高まったと思います。
			国内		
			短期		
60	長野県信濃町における地域産業の体験と課題発掘	長野県信濃町	宿泊	実際に農業を体験し、地方産業やこれからの農業ビジネス、6次産業化などについて考えます。また、信濃町の産業、観光、環境などを調査し、課題や利用可能な町の資産を発掘して信濃町の地域活性化のための企画をチームで作成発表します。	11から12名の学生が協力して4泊5日の共同生活を送りました。農業体験とフィールドワークを通して、信濃町の環境と生活を体験し、地方の課題発掘と課題解決についてチームで取り組みました。人間関係を含めて環境や生活の多様性を知る機会になったと思います。自分で考え、周りとの関係構築の力がついたと考えます。
			国内		
			短期		

2025年度 フィールド・スタディーズ(基礎FS) 担当教員からの成果報告

No.	プログラム名	実習地	種類	プログラム紹介	担当教員からの成果報告
61	過疎地域の生活を豊かにする買い物支援体験 ～移動式スーパーと巡る森と湖の田舎町～	長野県 信濃町	宿泊	移動式スーパーとくし丸に同行し、自然豊かな信濃町の魅力に触れつつ買物弱者とされる高齢者等と交流することで、地域や住民が直面している地域課題から住み続けられるまちづくりや都市部・若者ができることなどについて考えます。	5名の学生が5泊6日の共同生活を送り、町役場の指導の下地域が直面している買い物難民の問題に密着して地方のあり方についてチームで提言をまとめた。短期間で提言をまとめてあげ、町役場で町内の方々に向けて研究成果の発表を行った。プレゼン力の向上とチームでの協力の力がついたらと考えます。
			国内		
			短期		
62	長野県長野市 JAながの農業経済・流通体験インターン	長野県 長野市	宿泊	農作業体験を通じ農産物の流通を体験し、状況を理解します。直売所では、農業者から消費者へ直接販売する状況を理解し、直売施設の流通を体験します。	・JA長野の「フルーツ集配センター(果物の酒集配施設)」「JAめぐり(農産物の販売所)」での作業体験を通して、農産物や果物の生産・流通の苦労や工夫を知ることができた。学んだ内容については、現地でお世話になったJAの方に向けて発表した。 ・上田や戸隠、善光寺等のフィールドワークを通して、長野県の歴史や風土、文化等についての理解を深める。
			国内		
			短期		
63	長野県富士見町「縄文から現代まで―富士見町の持続可能な地域活性化を考える―」	長野県 富士見町	宿泊	こども＆若者支援と観光の観点から富士見町のSDGsに資する取組を体感します。中高生の居場所「ユースセンターまるいち」にて地元中高生との交流の場づくりを実践します。また富士見町の観光拠点を訪問し地域における自然環境問題や森林保全・管理の課題や持続可能な観光の在り方を学びます。	縄文遺跡(井戸尻考古館)、ユニバーサルツーリズム(富士見高原リゾート)、子ども達の居場所づくり(ユースセンターまるいち、ひこうせん子ども食堂)、駅前商店街のまちあるきでの体験を通じて、武蔵野大学のゆかりの地である富士見町の魅力の一部ではありますが感じ、考える機会となりました。振り返りでは、地域活性化と共生社会の両面から体験を整理し、富士見町の人々の地域愛の強さを感じたことを総括としました。また、提案として、運転免許を持たない人も移動できるような電動アシスト付き自転車のレンタルと、富士見町の魅力を集めたPR動画の作成を考え、PR動画は実際に作成しました。
			国内		
			短期		
64	静岡県御殿場市の産業を学ぶ	静岡県 御殿場市	宿泊	国立中央青少年交流の家に宿泊し、御殿場市の産業を学びます。今回のテーマは「お茶」。静岡県の名産である茶業の学びを通じた、地域産業や地域課題などを学びます。課題設定や課題解決について、実地調査やインタビューなどを行い課題解決に関するまとめを行います。	今年度から新設されたFS御殿場では、東京から近く観光客も多い身近な地域にも関わらず、アウトレット周辺への観光客の流れが少なく、周辺地域の活性化が求められている。参加学生は、観光協会のご担当の講演やお茶屋さんでの体験や講演を通じて、御殿場市の新たな取り組みを考えるとともに、魅力の発信方法などについても提案した。
			国内		
			短期		
65	蒲郡 日本社会を知る(地域活性化)	愛知県 蒲郡市	宿泊	現在の蒲郡は、人口減少にも直面しながら新たな地域社会の価値創造に取り組もうとしているところです。本プログラムでは、蒲郡のアーティストや農家、企業が、未来に向け創造しようとしている地域の価値について、現地施設の見学や関係者との対話を通じて考えていきます。	日本の綿栽培の発祥地とも言われる蒲郡の繊維業は盛衰の歴史を辿る。このアイデンティティの過去から現在を、糸紡ぎ・機織りなどの手仕事体験を通して学び、現在から未来をサークュラシティーという観点から企業がどう取り組んでいるか、サンローズ株式会社の工場を見学し、学んだ。また、この街の繊維業のドキュメンタリー映画を蒲郡の現地の方々で観て、対話会を行った。その際は蒲郡市長もいらした。最終日は格調高い蒲郡クラシックホテルで蒲郡の方々を前に、学んだことの発表会を行い、懇親会を行った。日本の綿栽培発祥地ともされる蒲郡は繊維業の盛衰を経験してきた。このアイデンティティの過去から現在を糸紡ぎ・機織りなどの手仕事体験や博物館見学から学び、現在から未来をサークュラシティーの視点からサンローズ株式会社から工場見学を通じて学んだ。さらにこの街の繊維業のドキュメンタリー映画を市民や市長と鑑賞・対話し、最終日には蒲郡クラシックホテルで蒲郡の方々を前に、学んだことの発表会を行い、懇親会を行った。
			国内		
			短期		

2025年度 フィールド・スタディーズ(基礎FS) 担当教員からの成果報告

No.	プログラム名	実習地	種類	プログラム紹介	担当教員からの成果報告
66	京都・西本願寺を中心とした仏教フィールド・スタディーズ ～仏教思想・仏教文化の源流を探る～	京都府 京都市	宿泊	京都・西本願寺の宿泊施設に滞在し、通常では経験することの少ないお寺の活動や、茶道・坐禅などの体験を通して、仏教が日本の日常生活や伝統文化に深く浸透していることを感じてもらうプログラムです。	学生たちは、日常生活ではなかなか身を置くことのない環境のなかで、自己を見つめ直し、他者を思いやる心や感謝の気持ちの大切さを学ぶなど、さまざまな「学修」を重ねたように思います。これらの学びは、日常生活にも深く通じるものであり、今後の大学生活、さらにはその先の人生における確かな礎を築くことができたのではないかと感じています。
			国内		
			短期		
67	奈良 東大寺の歴史を学ぶ ―建築と美術を中心に	奈良県 奈良市	宿泊	南都七大寺の一つである東大寺は、奈良時代に聖武天皇によって全国の国分寺の中心として創建された。本尊の盧舎那仏、それを安置する大仏殿の他、数多くの堂宇と仏像の優品が伝わる。古代から鎌倉、江戸時代の再興を含む寺院の歴史を現地で学ぶ。各自、事前にテーマを設定して現地学習に臨む。	大学生として、自分で課題を見つけ、それについて掘り下げていく、ということを知ってほしいと考えている。今回のカリキュラムでは、建築、仏像、仏教、歴史全般などさまざまな観点から各学生がアプローチし、ネットや書物で得られる知識とは異なる現地ならではの印象や感想も述べられていた。個々の学生は必ずしも美術や歴史の専攻ではないが、今回学んだことをさらに深めてほしいのと同時に、自分の専門領域で積極的に調査研究をすることを身につけて欲しい。
			国内		
			短期		
68	徳島県海陽町道の駅穴喰温泉を拠点とした超実践FS	徳島県 海陽町	宿泊	学生が考案したプログラムです。徳島県海陽町の自然豊かな環境を楽しみながら、現地での様々なアクティビティを通じて海陽町の文化などについて学びます。現地の見学や地域の方々との交流をへて地域課題を考え、地方ならではの様々な悩みを抱える海陽町へ若者視点での提言を行います。	轟の滝や星空など海陽町の自然に触れただけでなく、道の駅での比較調査を通して「魅力はあるのに十分に発信されていない」という課題を発見しました。藍染めやDMV乗車、BBQ、マルシェでの対話など多様な体験を通じて地域理解が深まり、「若者に来てほしい」という声を受け止めて、若者向けPRやSNS発信のあり方を学生視点から具体的に考えることができ、今後の企画づくりにも生かせる学びの機会となりました。
			国内		
			短期		
69	福岡県大川市 モノ作りの魅力発信プロジェクト	福岡県 大川市	宿泊	福岡県大川市は国内有数の家具の生産地です。福岡県大川市モノ作りの魅力発信プロジェクトでは、履修者1人1人がオリジナルに家具をデザインし、現地での家具作りをとおして福岡県大川市のモノ作りの魅力を体感・発信するプログラムです。	本プログラムでは、4名の学生が自らの生活と大川市をつなぐ「オリジナル家具」を設計し、受入先であるプロセス井口様の職人の皆様と共に制作を行いました。完成した4点の個性的な家具は、大川市役所での成果発表にて披露され、学生たちは堂々と発表を行いました。地域と学生が協働する過程を通じ、双方に学びと関係を育む貴重な機会となり、大川のモノづくりの魅力を広く発信する実践となりました。
			国内		
			中長期		
70	福岡県大川市「藩境のまち」未来共創の地域づくりプロジェクト	福岡県 大川市	宿泊	福岡県大川市観光の重要な観光資産であり、歴史的な街並みが魅力的な「小保・榎津 藩境のまち」を対象として、まちについて学び、まちの未来を共に考え、地域づくりに取り組むプログラムです。まちづくりや空き家活用、観光や人々の集まるきっかけを考えたり、街の未来を描き発表します。	今年度から始まった福岡県大川市「藩境のまち」未来共創プロジェクトでは、学生11名が小保・榎津藩境のまち保存会の皆様に受け入れていただきました。レクチャーや街歩き、保存会活動やボランティアを通じて濃密な学びを得ることができました。さらに3つのチームに分かれ、市役所で成果発表を行い、市役所や保存会の皆様と交流・意見交換を重ね、大川市の未来を共に考える貴重な機会となりました。
			国内		
			中長期		

2025年度 フィールド・スタディーズ(基礎FS) 担当教員からの成果報告

No.	プログラム名	実習地	種類	プログラム紹介	担当教員からの成果報告
71	鹿児島県SDGs未来都市「徳之島」宝をつなぐ・宝をつくるプロジェクト	鹿児島県徳之島町	宿泊	島でイキイキとはたらき、生きる「人」に注目し、取材とインタビュー原稿を制作。島で生きる豊かさを発信して、徳之島への移住・Uターン促進に貢献することを目指します。	連携10年目となる徳之島FS。今年度は移住・Uターン促進への貢献を目指し、ロールモデルとなる人を紹介するコンテンツ制作に取り組んだ。生まれ育った島に戻ってお店を開いたり、島外から移住して島のために奮闘する5人の方へのインタビュー、写真撮影、原稿制作を行った。発表会はYoutubeライブで行い、島外からも多くの視聴をいただいた。原稿は事後授業でブラッシュアップし、メディアプラットフォームnoteに掲載し、公開した。島の方々の生き方に真摯に向き合う取材・原稿制作を行うことができ、良い評価をいただいた。
			国内		
			中長期		
72	沖縄というシマ(沖縄入門)	沖縄県内	宿泊	14世紀以前から日本や明・清の「周辺」にある独立国として栄えていた沖縄は、19世紀末になり日本の「辺境」にある一地方に組み入れられましたが、現在に至るまで独自のキャラクターを保持しています。本プログラムでは、那覇と本島北部を訪れ、東日本とも西日本とも違う、シマ世界の魅力を味わいます。	沖縄というシマ(共同体)をリゾート地としてとらえるのではなく、日本本土とは別個の長い歴史をもつ独特の文化圏であることに焦点を当てたプログラムだった。学生諸君もその目的意識によくこたえ、短い旅行の中で多角的に沖縄をとらえるべくそれぞれ努力してくれたことと満足している。
			国内		
			短期		
73	きらめく仏塔の国々	オンライン	オンライン	仏教美術の成立について、特にインド・東南アジアを中心に全体の流れを学びます。その中でタイの仏教美術がどのように形作られてきたのかを、時間軸と地域性を見ながら総合的に理解を深めます。タイの仏教美術を理解するために、仏教美術が伝わった道筋とその変遷をたどります。	”ほかのプログラムと違って、オンライン授業で体験型という意味では見劣りがするため、講義を博物館などから行う回を設け、より直接的に美術作品に触れることで、臨場感を得られ、興味を喚起できた。ただし仏教美術全体の流れを理解するという試みは、時間的にややハードルが高く、今後は仏教美術の根源ではあるものの、インド美術にあまりこだわり過ぎない方がいいのではと考えている。そこで多少の授業内容の調整も視野に入れている。”
			海外		
			短期		
74	ハリーポッター&シャーロックホームズからイギリス文学を学ぶ旅	オンライン	オンライン	世界中で人気を誇るイギリスの代表作、ハリー・ポッターとシャーロック・ホームズを通してイギリスの文学、文化、歴史などについて学びます。講義と一部イギリスとオンラインで繋げ、日本で物語の舞台となった地をバーチャルで体験します。	『ハリー・ポッター』シリーズと『シャーロック・ホームズ』を学ぶプログラムです。ハリー・ポッターやシャーロック・ホームズが好きな学生が集まり、最終日にプレゼンテーションにて作品の新たな魅力を発表します。プログラム内では実際にイギリスと現地生中継を使い、ハリー・ポッターやシャーロック・ホームズのゆかりの地を巡ったり、宗教絵画や、魔女についての講義を受けることとなります。学生たちはイギリス現地にいるような臨場感を味わい、また講義を受けることにより、素晴らしいプレゼンテーションを行いました。
			海外		
			短期		